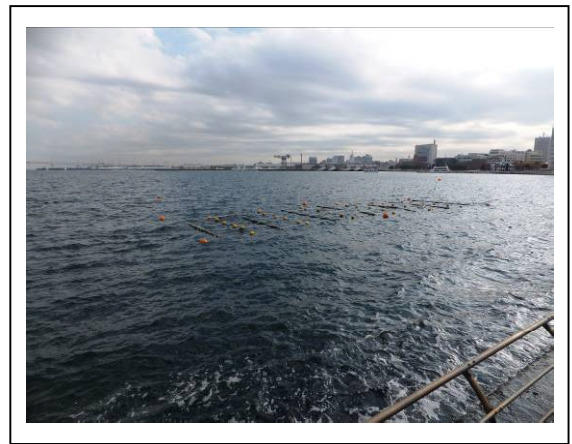


活動報告書

- ① グループ名 NPO法人 海辺つくり研究会
- ② 提案名 夢ワカメ・ワークショップ
- ③ 助成を受けて行った活動の時期及び内容

平成23年11月26日～平成24年1月28日

海辺に触れられない港湾区域において、参加者を募集しワカメを育成することで、海域の水質浄化に直接貢献するとともに、東京湾の海辺に親しみを持ってもらふことや、東京湾を良くしていこうという意識や東京湾の環境を良くしながら行動していく地域住民のコミュニティ形成を醸成します。このために今年は横浜市西区みなとみらい地域住民の参加を促しました。さらに、海外の山岳民族でヨード不足により健康被害の出ている子どもたちに送り、健康に貢献し、栄養塩の系外排出を行っています。具体的には、11月に一般参加者を募集し、種系を取りつけてもらい、マイワカメとして育成を行います。2月にこのワカメを回収し、重量を測定することで、回収した窒素やリンの量を数値として示し、浄化量を共有します。今年も個別にワカメの重量を計測し、全員の合計重量から、窒素およびリンの回収量を計算し、海をどれくらいきれいにしたかを全員で確認しました。結果、回収総重量695.0kg、乾燥重量50.04kg、総炭素量12.71kg、総窒素量1.59kg、総リン量0.48kgとなり、大人4人が1年間に生活から排出する量を回収することができました。また、このワカメを持ち帰り食べることで、栄養塩の循環を図ります。さらに、このワカメのうちの一部をヨード不足で健康被害の出ている海外の山岳民族に送ります。また、このワカメの故郷の釜石の復興支援にも繋げています。



- ④ エリアマネジメントにおける効果

東京湾において海域の水質を浄化することによって港湾および海辺に対するイメージをアップさせることは、東京湾を良好にしていくために大きく寄与するものと考えられます。ワカメなどの海藻類は、生長にともなって海水中の窒素やリンを吸収し、酸素を放出するため、海水の浄化に効果が高いと言われています。これを一般参加者に参加できる形にしたことにより、環境学習面、環境意識の啓発といった点で効果があります。また、海外へ海藻の寄付を行うことで栄養塩の系外排出だけでなく国際貢献につながります。今年は、地域自治会と連携し広報するとともに、釜石の復興支援にもつなげました。これまでに、この活動が続けられてきたのは、岩手県釜石市からワカメの種系を頂けてきたことがあります。残念ながら震災で釜石の水産業は壊滅状態となりました。しかし、7月に入りワカメの種系の生産を開始するとの連絡がありました。今年も、ワカメの種系は釜石から購入することで、現地への支援につなげることができました。また、参加者には、釜石復興支援の募金を呼びかけました。

昨年度の助成報告会にて、みなとみらいミッドスクエア自治会会長とお目にかかることができました。これまでもみなとみらい地区に参加者募集を呼び掛けてまいりましたが、地域からの参加者が少なかったという現状がありましたが、今年はみなとみらい地区からの参加者が若干ですが増加することができました。この活動が地域住民の地域に対する愛着と、コミュニティ形成のための一部として役に立つものと考えています。



⑤ 今後の活動展望(課題や活動の広げ方、継続性 等)

この活動の特長は単独の団体でやっているのではなく、18 団体の連携でやっていることにあります。これにより、活動内容自体が様々に広がっていきます。国土交通省、神奈川県、横浜市などの行政との連携、横浜市だけではなく釜石市の漁業者との連携、国際協力などもその一つです。毎年、多くのマスコミにも取り上げられることで全国に知られるようになりました。みなとみらい地区からの参加者も増加しつつあります。この活動の継続は多くの参加者からも指示されています。活動自体は今後も継続させる予定ですが、より地域に密着して地域で行われている環境活動との連携を模索していく予定です。

収 支 決 算 書

団体名 NPO法人 海辺つくり研究会

1 収入

項 目	金 額	説明 (負担者及び負担方法等)
交付された助成金 (A)	250,000	
団体負担 (自己予算)	308,830	
合 計	558,830	

2 支出 (助成金対象経費分)

項 目	数量 (単位)	単 価	金 額	説 明
イカダ製作費用	1式		188,790	ロープ、シャックル、ライトブイ等
講師謝金 (旅費交通費含む)	2名		94,390	釜石⇄横浜往復
備船費	2隻		70,000	イカダ、アンカー設置 2日間
会場借料	2日		6,000	臨港パーク使用料
運搬費	2台日		15,000	2tトラック 資機材運搬用
文具資材等	1式		109,650	
保険料	1式		75,000	障害保険
合 計 (B)			558,830	

3 決算後の助成金の額

(1) $(A) \leq (B) \times 4/5$ の場合 (A) の額 ¥250,000. -

(2) $(A) > (B) \times 4/5$ の場合 (B) × 4/5 の額 ¥ . -